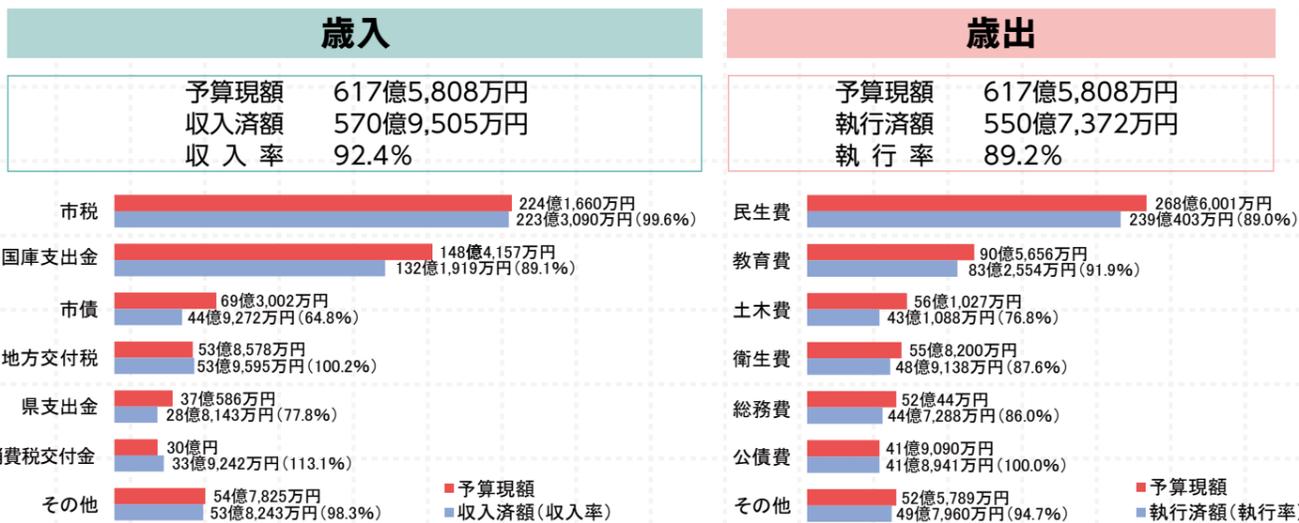


# 令和3年度下半期 久喜市の 財政事情

問 財政課財政係 (内線 2426)

## 一般会計

市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、福祉や道路・公園の整備、教育、産業振興など、市民の皆さんの生活に直接関係のあるさまざまな分野の事業を行うための会計です。



※予算現額：当該年度において執行する全ての事業の基となる予算の総額であり、当初予算に補正予算と前年度からの繰越予算を合計した総額をいいます。

## 特別会計

特定の収入により事業を行う国民健康保険や土地区画整理事業など、一般会計と区別して経理している会計です。

区分	歳入予算現額	収入済額	収入率	歳出予算現額	執行済額	執行率
国民健康保険	165億3,663万円	162億2,577万円	98.1%	165億3,663万円	161億2,528万円	97.5%
介護保険	117億7,499万円	116億2,725万円	98.7%	117億7,499万円	103億6,625万円	88.0%
後期高齢者医療	19億9,135万円	19億3,916万円	97.4%	19億9,135万円	16億4,967万円	82.8%
土地区画整理事業	2億7,446万円	2億7,446万円	100.0%	2億7,446万円	9,916万円	36.1%

## 水道事業会計

水道料金を主な財源として、上水道供給のために使われる経費を計上した会計で、民間の会計制度を取り入れた、独立採算の企業会計です。

区分	収入			支出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	執行済額	執行率
収益的収支	41億2,178万円	41億8,967万円	101.6%	35億8,630万円	34億8,337万円	97.1%
資本的収支	1,169万円	1,744万円	149.2%	18億3,332万円	16億4,061万円	89.5%

※収益的収支とは、水道料金などの収入ならびに配水のための電気料金や浄水にかかる経費および人件費など、水道事業の管理・運営に関する収支です。

※資本的収支とは、新しい水道管の布設や古くなった水道管の布設替工事などの施設の建設・改良などに関する収支です。

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費などの現金支出を伴わない費用などで補てんしました。

## 下水道事業会計

下水道使用料等を主な財源として、下水処理のために使われる経費を計上した会計で、民間の会計制度を取り入れた、企業会計です。

区分	収入			支出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	執行済額	執行率
収益的収支	44億1,062万円	44億6,599万円	101.3%	43億7,342万円	42億9,797万円	98.3%
資本的収支	22億6,165万円	22億766万円	97.6%	33億2,723万円	32億3,874万円	97.3%

※収益的収支とは、下水道使用料などの収入や、施設の維持管理にかかる経費など、下水道事業の管理・運営に関する収支です。

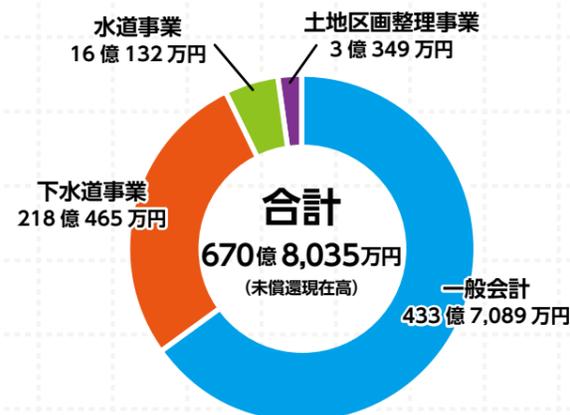
※資本的収支とは、国庫補助金などの収入や、下水道管の布設工事にかかる経費などの施設の建設・改良に関する収支です。

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費などの現金支出を伴わない費用などで補てんしました。

市では、皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われているかをお知らせするため、年2回、財政事情を公表しています。今回は、令和3年度下半期(令和4年3月31日現在)の会計別収支状況、市債の状況、市税の状況についてお知らせします。なお、一般会計・特別会計については、5月31日まで出納整理期間があり、最終的な決算額とは異なります。また、水道事業会計および下水道事業会計については、決算整理中ですので、最終的な決算額とは異なる場合があります。詳しい情報は、市ホームページでご覧になれます。

## 市債の状況

公共施設整備などを行うために、借り入れたお金の残高を表しています。昨年度よりも約20億7,799万円の増となりました。

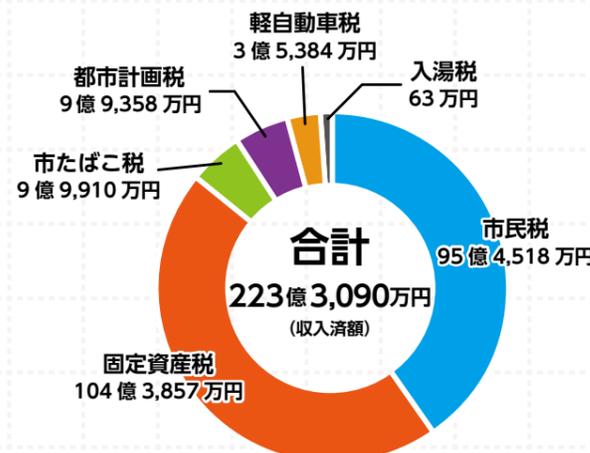


市民1人当たり 44万3,644円

※市民1人当たりの額は、人口151,203人(令和4年3月31日現在)で算出しています。

## 市税の状況

市民の皆さんに納めていただいた市税の内訳を表しています。全体では昨年度と比較し、約2億1,177万円の減となっています。市民税と固定資産税が全体の89.5%を占めています。



市民1人当たり 14万7,688円

## 連載 みんなで取り組もう SDGs (第4回)

風邪や新型コロナウイルス感染症の予防には、手洗いが重要ですが、世界では、基本的な手洗い設備を利用できない人が約23億人もいます。また、約20億人が安全に管理された飲料水を利用できず、多くの病気の原因となっています。

《ゴール6》  
安全な水と  
トイレを世界中に



日本では世界でも水の使用量が多い国で、生活用水を1人1日あたり約224リットル使っています。さらに、食料を輸入に頼っている日本は、その生産に必要な水も消費しています。海外の水不足などの問題は他人事ではありません。

～今日から始められる取り組み例～

- 日ごろから節水を心掛ける
- 油は流しに流さず、ふき取って捨てる

世界には、電気を使えない人が約7億6千万人もいます。特に、サハラ砂漠以南のアフリカ地域では、約10億人の人口のうち、その約半数が電気を使えません。

《ゴール7》  
エネルギーを  
みんなに  
そしてクリーンに



日本では、エネルギーの85.5%を化石燃料(石油、石炭、天然ガス)に依存しています。化石燃料に替えて、クリーンな再生可能エネルギーの割合を増やし、消費電力を抑える必要があります。

～今日から始められる取り組み例～

- できるだけ公共交通機関を使う
- 電気をこまめに消すなど、節電を心掛ける